

小松裕志代表取締役社長と山道守彦チーム統括本部長の紹介

埼玉県出身で2011年に慶応義塾大学法学部を卒業後、ゴルドマン・サクス株式会社に入社し、株式の機関投資家営業や企業投資部門として国内外で業務に励んできました。その後、投資先企業の選定や運営に関わってきた中で、尊敬すべきJトラスト株式会社の藤澤社長と知り合い、入社後10年を経た昨年3月にJトラスト株式会社の取締役執行役員社長室長として転身することになりました。

さらに小松氏は中高時代に浦和レッズのアカデミー育ちであったので、多くの知己がJリーグで活躍中の指導者や選手達であることから、かねてより弊社大株主の藤澤社長にお願いをしていた追加増資等による強化対応策の検討のため小松氏にFC岐阜の取締役GMをご担当いただくことになりました。昨シーズンのチーム内容やこれまでも低迷が続いていたチーム成績を今シーズンから抜本的に強化すべく、小松氏は昨年12月に代表取締役社長に就任し、私は会長として全面的に小松社長とクラブサポートを行うことにいたしました。34歳の若さですが、サッカーで揉まれた強靱な肉体と精神力に加えて、国際ビジネスで磨かれた感性と数多くの社外取締役経験などから、FC岐阜を新しく変えて行く原動力に相応しい社長の就任であり、藤澤社長の絶大な郷土愛によるご尽力に感謝で一杯です。

今シーズンはスポンサー企業の皆様、岐阜県や42市町村からのご支援に加えて、藤澤大株主様による特段のクラブ支援と新体制によるチーム強化によって、まずはJ2昇格を達成すべく頑張りますので、一層のご声援をお願い致します。

現在の体格は、172cm/115kgと大柄で、言動は明確でパワフル、緻密な思考の上に思い切った行動力があり、大食漢で酒も強い。赤ワイン、特にフランス・ブルゴーニュワインについてはテイastingできる繊細さと、剛柔使い分ける柔軟性もある魅力的な人物です。

今シーズンはチーム強化の傍ら、自らの強化として練習にも顔を出してダイエットをするそうで、その頃には何キロ体重が減っているのかも大いに楽しみでもあります。



代表取締役社長 写真：©FC GIFU
小松 裕志 (34歳)

1985年筑波大学体育専門学群を卒業後、三菱重工業サッカー部に所属し日本サッカーリーグ66試合に出場した後、浦和レッズに入り1994年から強化部担当、2006年から2008年まで強化部長、本部長を歴任しました。この間にJリーグ、天皇杯、ゼロックススーパーカップ、ACL等のタイトルを勝ち取り、浦和黄金期を築いた重要人物であります。

2009年から総務部長に転身し、企業経営の根幹を学び、特に2011年3月の東日本大震災での対応などでクラブとしての「継続と安定」の重要性を身に染みて学びました。同年9月から弱体化した浦和レッズ強化のためGM代行として強化部に戻り2012年から強化本部長、2017年取締役本部長になり、この間ルヴァンカップ、ACL等でも優勝し第2期黄金期となりました。

2019年にはV・ファーレン長崎の強化部長を歴任し、2020年京都サンガF.C.の強化部長となりJ2からJ1に昇格させたところで、思いもせぬ強烈な移籍申請を受けたのでした。長い強化部経験から「強く魅力あるチームづくり」と「地域に愛されるクラブづくり」が大切であり、それを実現するためにはスクラップ&ビルドをしながら「継続と安定」を進める方針で浦和レッズを運営してきたことを誇りに思っていましたところ、その思いをこれからJ3のFC岐阜で展開し実現してほしいので、是非FC岐阜に来て欲しいと強烈なオファーを受けました。オファーの相手は何と16年前に浦和レッズ・アカデミーで6年間学び育った元生徒の小松裕志君でした。

今や立派なFC岐阜社長の小松裕志として「J3からJ2・J1・世界への挑戦」を語りかけられ「人生の出会いの素晴らしさ」と「出藍の誉れ」に感動し、まずはJ3からJ2への昇格と更にはJ1への一気通貫を小松社長とこのFC岐阜で完成しようと決意しました。もちろんFC岐阜のクラブ理念『子どもたちに夢を！！』、『感動を共に！！』の実現に向けて個人としてではなく『チームとして、こころで動く』をモットーに皆様と共に邁進いたしますとの力強い言葉を得て、皆で動かす力の一端を二人の中に確と見て心強く思っています。



チーム統括本部長 写真：©FC GIFU
山道 守彦 (58歳)